

ソーシャル・インクルージョン(social inclusion) が機能する学校・地域づくり

～ 社会的弱者の社会参加を促す学校・地域づくり



湖南省教育研究所

1

学校運営協議会「理事会」の設置

2005.4月 研究指定 ～ 2007.7.4.1 設置
2008.4月 学校支援地域本部事業 受託・・・継続中

子どもの
課題を共有

理事長

学校づくりの
イメージを共有

互選

岩根6区から理事を選出(6名)

21世紀の岩根の子どもを育てる推進委員会(1名)

岩根の子どもボランティア活動を推進する委員会(1名)

岩根の子どもの安全・安心を見守り育てる委員会(1名)

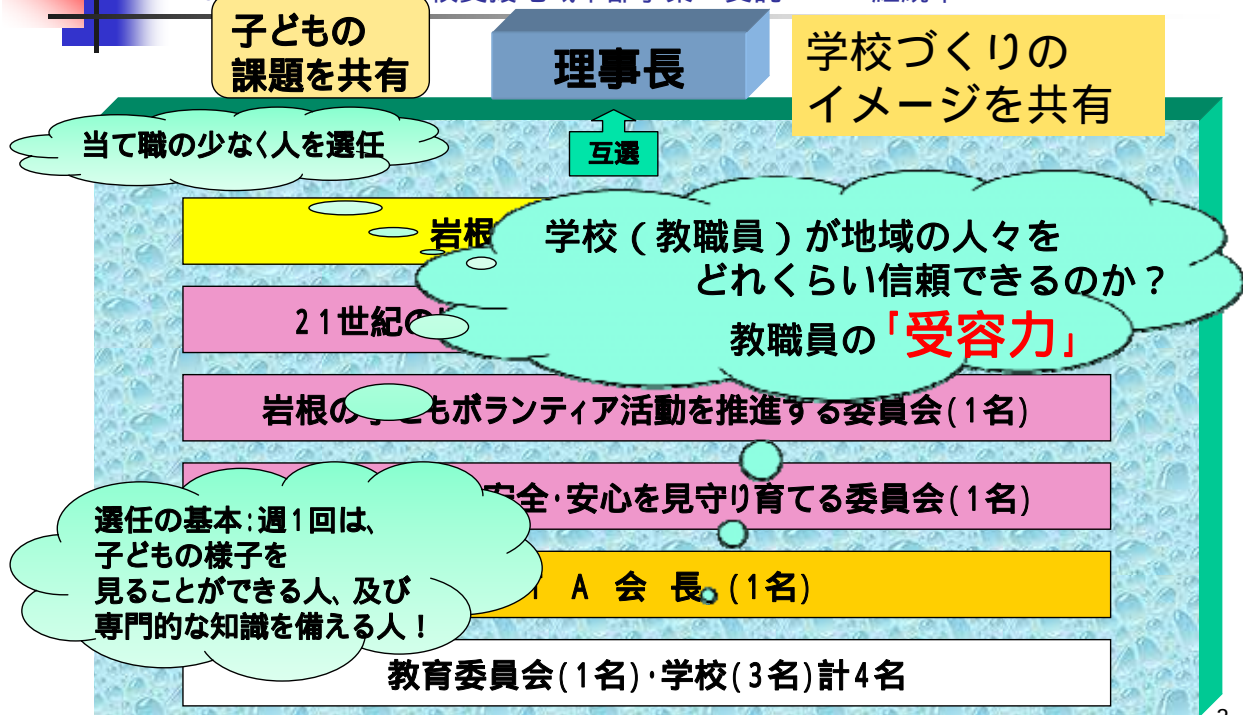
P T A 会 長 (1名)

教育委員会(1名)・学校(3名)計4名

2

学校運営協議会「理事会」の設置

2005.4月 研究指定 ~ 2007.7.4.1 設置
2008.4月 学校支援地域本部事業 受託・・・継続中



3

08 ~ 09

保護者の人間関係・生活・就労相談システム

- 子どもの背景を応援するシステムが必要では?
【08保護者アンケート】

問) 担任外にも、子育て、人間関係、生活、就労等の相談が気軽にできる場所が必要か?

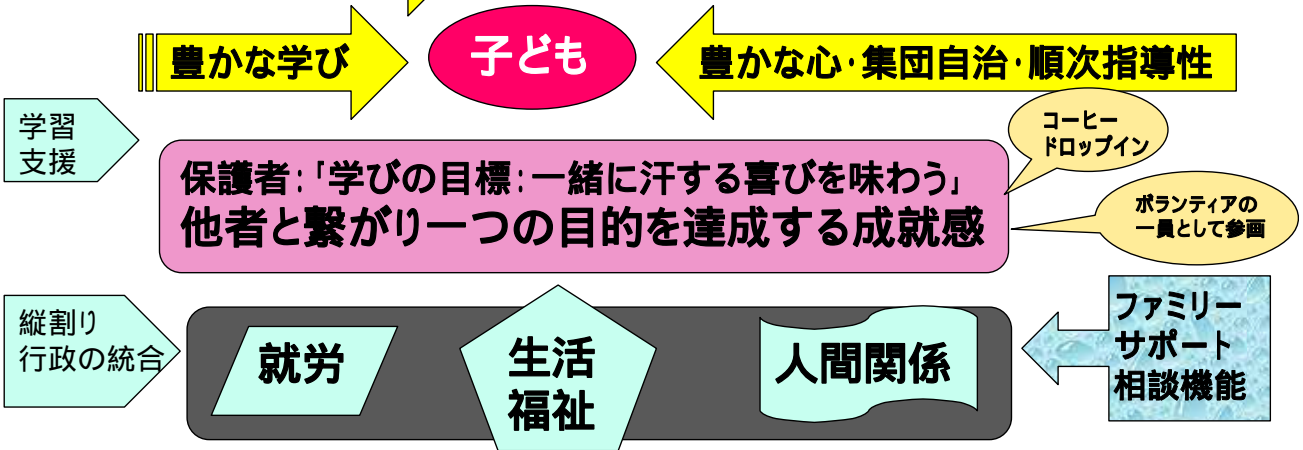
是非希望する: 36% できれば希望する: 31% 計67%
希望しない: 14% 必要ない: 3% わからない: 16%
学校は、子育てだけのアドバイスでいいのではという考えもあるが

派遣切り、近所の人間関係、夫婦・姑の関係、親子の関係、生活苦!
子どもの生活背景は様々 相談支援・生活支援システムの構築

社会的弱者の社会参加を促し
社会的弱者を生み出さない学校 (将来目標イメージ)

ソーシャル・インクルージョンが

トランジション(移行)・プログラム → 機能するコミュニティ・スクール



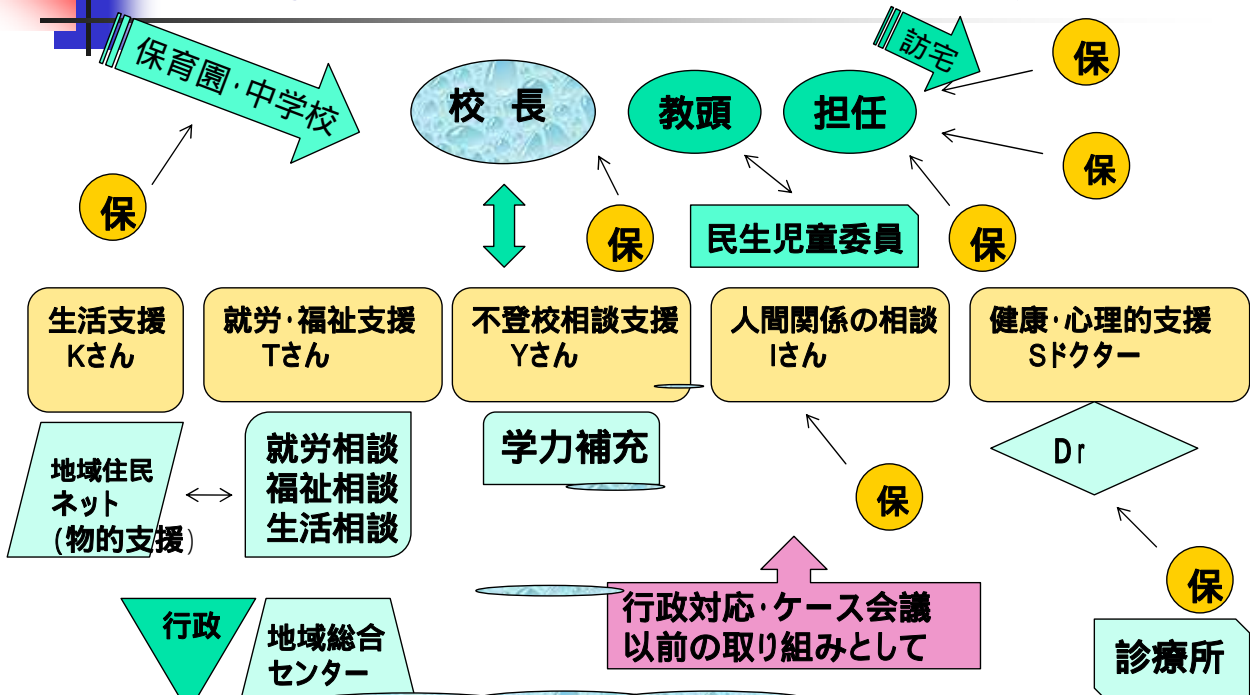
地域の相互扶助・協働の精神を呼び起こし、
草の根的な、「拡張学校」「統合CS」が出来ないものか？

イングランド「拡張学校」・スコットランド「統合CS」に学ぶ

「申請主義」から「確認主義」へ

ファミリーサポート相談

「事前の情報キャッチのための話し込みと携帯ネット」



会議は開催しないけど、密なネットワークの構築を！」

月一回程度のミーティング(茶話会)
「どこまでを子どもにさせ、どこまでを手伝うのか」

特別支援ボランティア



個々の子どもたちの「個別指導計画」の確認と共通実践。

保護者の悩みの解消と
外国籍の人々との
コミュニティーづくり

ボランティア通訳 5名確保

外国籍の保護者対象の教育ガイダンスと個別懇談会

子どもたちが日本の社会で生きていくにはどんな進路があるの？



3年生「店長修業」(総合的な学習として)



学校運営協議会で企画・運営

夏休み「店長修業」(就労体験6年)



理事の意見:子どもたちの夏休み40日×6年間=240日=1年間の授業日数
家庭の実態格差が、大きく子どもの学びに反映していることを踏まえ、
「子どもたちに地域で豊かな体験の場」づくりを！！

現在の子どもたちが地域の担い手となる時期の課題
今後予想される地域課題を
学校教育の内容に入れて！

現在の子どもたちが、地域の担い手になるとき、高齢化率は30%を超えることは確実。残り約70%の内の半分は青年及び子どもで、約35%の労働者である現在の子どもたちが、介護、子育て、自治を支えていけるのか？
その担い手を育てることが、学校の役割ではないか。

- 新しい地域の、自治の不成立。
- 旧の地域の過疎化とこれからの自治の運営の困難化(少子高齢化)。
- 外国籍の人々の共存課題と自治。
- 安全・安心の豊かな地域の確立。

*** 岩根の次代を担う、**

人と人が「豊につながる」地域をつくる。

11

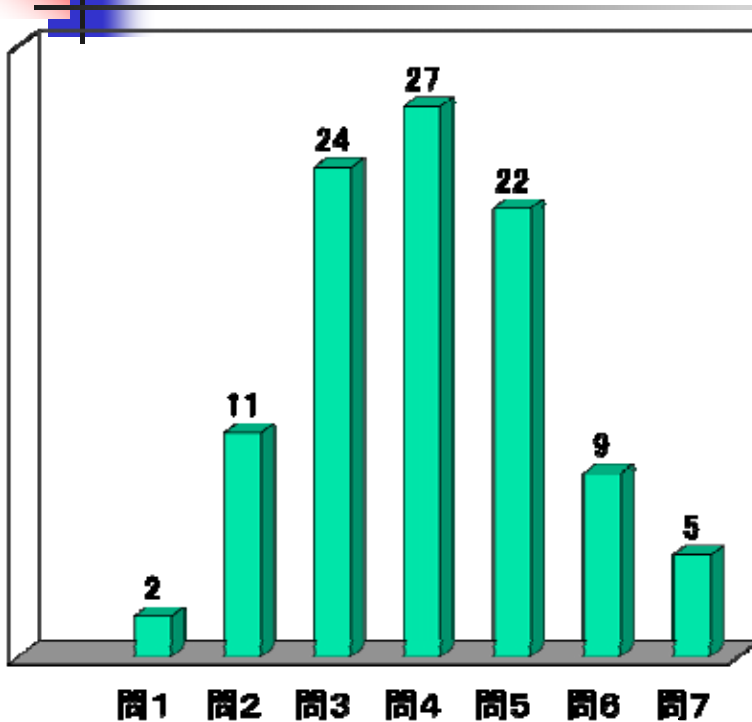
地域高齢者とのふれあい体験(1・2年生)
今後の少子高齢化社会を見通した取り組みとして。



高齢者になじめない子どもたち

12

家庭での「積み上げ学習」実態アンケートより



質問内容	
問1	塾に通わせているので十分である
問2	家庭でドリル学習等実施しているので十分である
問3	忙しくて見てやれていないが、子ども自身が努力している
問4	忙しくて見てやれていない
問5	ほとんど子ども任せである
問6	子ども任せで不安である
問7	その他(言っても勉強しない)

87%が不安!

13

家庭学習の積み上げ支援 10.5.7～ 発

「土曜教室」 2・3年生対象 09.12月 試行出発～

学力の二極化をどう克服していくのか??

支援対象児

- * 家庭で学習環境がない子
- * 経済的に不安定で、学童保育所や塾等にも行けない子
- * 学習補充の必要な外国籍の子
- * 学習の二極化で底辺にいる子

地域の退職教職員

学習支援ボランティア

地域の大学生

学校の教職員

地域の施設活用! 退職教職員をリーダーとして!

家庭学習の積み上げ支援 10.5.7～ 発

「土曜教室」 2・3年生対象 09.12月 試行出発～

学力の二極化をどう克服していくのか??



マンツーマン
指導を基本として

施設活用! 退職教員

地域の退職教職員



15

子どもは、どこへ行っても「お客さん」
「お客さん」からの脱却を!

- **家庭**では、「お手伝い」でなく「家庭の一員としての仕事」を。
- **地域自治会**では、子どもを「自治の一員」として向き合いましょう。
- **学校**では、「自分のことは自分でします。」「自分で出来ることは手伝いません。」

「忙しい」「待てない」のは大人の方!!
地域・家庭・学校に「杉(過ぎ)」でなく「松(待つ)」を植えましょう。

学校・地域・家庭が子どもを育てる視点を共有し取り組みを積み上げる

16

子どもたちも 地域の一員として貢献



「岩根サロン」
と
「ホタルまつり」



子どもたちにとって、「学校は地域の一部！地域も学びの学校」

「思川」清掃活動（4年生：総合学習）



地域の一員
として地域貢
献と地域学習



地域ホタル育成ボランティアと 湖南省ロータリークラブとのコラボレーション

- 3年がかりで「思川」を昔のホタルの飛び交う豊かな川に戻そう！



子どもの充実感
修学旅行を超える



地域・親子約500人が
集った子どもが主役の
「ホタルまつり」
8つの屋台とイベント

19

湖南ロータリークラブの協力から地域に移行
子どもを「お客さん」にしない取組！

子どもが主役の「ホタルまつり」



20

お節介な人こそ地域の宝！世話やきな子どもを育てよう

子どもも自治の一員として

岩根まちづくりフェアに参画



岩根小自主歌声グループ



クラブ活動の発表



たこ焼き店(やかばクラブ)



さくらクラブのお茶コーナー



地域交流写真展



子どもたちが指導員の制作コーナー

常に子どもたちの教育課題を語り合える「学校運営協議会」

1年生の掃除支援



ボランティアは、子どもがやるべき仕事は
教えても手伝いません！

本校の学校支援ボランティアのベースとなる クラブの開始式

(地域の先生による11クラブ紹介)

5年に一度、子どもたちの前で感謝状を贈る



教職員は、クラブの先生の
マネージャー！

地域の先生を軸とした様々なクラブ活動

11クラブ



ステンシルクラブ



グランドゴルフクラブ



スポーツいかがクラブ



マジッククラブ



ちぎり絵クラブ

ボランティアと教職員の意思疎通

■ ボランティアと教職員交流会



学校の常識、
世間の非常識からの脱却

子どものどこまでを手伝い
どこから自分でさせるのかの共有



25

子どもの声を聴くことから始める！

声かけ見守りボランティア



6区の地域課題を考えながら
各区に合った見守り方を



区の活動例

月曜日:老人会 火曜日:PTA
水曜日:エルダー 木曜日:自治会
金曜日:PTA

26

子どもの差別意識の社会化

・各地域で取り組まれている不審者対策の功罪・
 信頼している身近な大人から教えられた直感的差別意識

- 今、子どもの不審者対策は、「**犯罪原因論**」が横行し、子どもに「外国人・障がい者・ホームレス等」が、「怪しい人＝不審者」として定着してきている。
 - 子どもも大人を避け、大人も子どもを避ける。地域自治は、子どもが大人になったとき崩壊するだろう。
 - 犯罪をさせない「犯罪者が入りやすい場所」「犯罪が見えにくい場所」に着目していく。「**犯罪機会論**」の啓発。
- * 「空き屋・ゴミ・放置自転車・落書き」等地域に無関心な場所をつくらない。(ブロークン・ウインドウの理論)

岩根小

「コミュニティ・スクール

支援委員会」 2010.3.12 設立

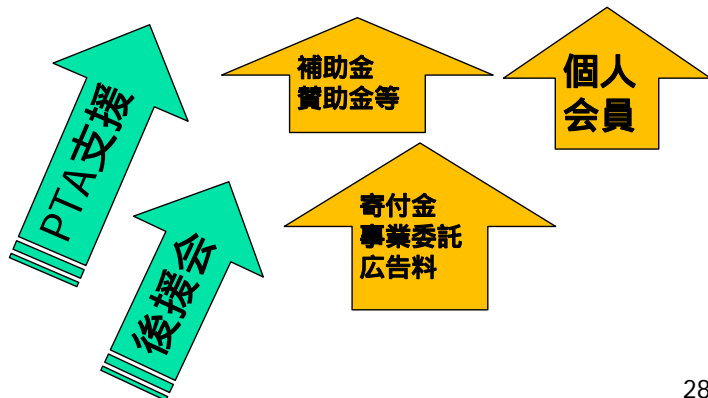
今後の行政構造や財政の変化を見据えて

コミュニティ・スクール 支援委員会

区長会・後援会・同窓会・PTA・
 ・まちづくり協議会・民生委員会・
 学校運営協議会・他

学校運営協議会

子どもの積み上げ学習の充実
 ボランティアの負担の軽減
 支援組織の経費支援
 情報誌の発刊
 事務局運営費
 その他 必要な事業支援





縦割り行政の弊害を克服する

- **行政の隙間の課題こそ、学校イノベーションのキーワード！**
 - ・行政の中にも各課・部局を繋ぐコーディネーターが必要
 - ・行政の「申請主義」の課題を、「確認主義」である学校・園の機能を有効に活用した地域福祉・就労計画
 - ・行政の役員選出の際の「当職主義」の改善
 - ・学校支援ボランティアの仲間づくり、学びの場を設置
 - ・校長の経営相談・教職員の悩み相談・ボランティアの相談の窓口として

『2011 岩根小学校コミュニティ・スクール』 並びに「学校支援地域本部事業」 構造図

学校イメージ：草の根的なソーシャル・インクルージョンが機能する学校づくり

